

“協働による人も地域も元気な加須市づくり”を推進していく加須市の予算



① 予算の規模

一般会計予算367億1,500万円を確保

平成29年度予算は前年度比5.5%減となりましたが、平成28年度12月補正予算で措置した15億3,700万円の昭和中学校大規模改造工事を平成29年度に繰り越して実施中であり、これを合算するとこれまで同様に、適正な予算規模であると言えます。

今後も人口減少等の社会情勢を勘案し、適正な予算規模を維持します。

② 将来負担比率

算定なし（将来の負担は現在の基金額等で十分足りるという結果）

財政の健全度を測る指標の一つで、市の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したもので、平成27年度決算では、市の貯蓄である基金などにより将来負担が十分まかなえる状態であり、この指標上では将来への備えは万全と言えます。

③ 経常収支比率 88.5%

県平均より2.4ポイント下回る

財政構造の弾力性を表す指標です。この比率が低いほど財政構造の弾力性があることとなります。

④ 将来への備え

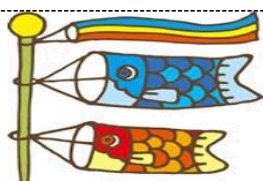
済生会病院の誘致等を目的とした医療体制確保基金へ30億円積み立てさらに、公共施設等再整備基金残高 約30億円

将来への備えとして、医療体制の確保や公共施設の改修のため基金に積み立て、今後計画的に活用します。

⑤ 債務残高の圧縮

一般会計予算ベースの債務残高が約1.1億円の減

普通建設事業費を抑制し、新規借入の圧縮に努めます。



平成29年度予算

5つの重点取組と主な事業

★最優先取組

済生会病院の加須市への早期立地を推進します



① 市民生活の安全・安心の確保

空家等に対する指導の徹底や空家発生の予防など安心な生活を守ります

② 子育てや子ども達の学びへの支援

仕事と子育ての両立を支援する放課後児童健全育成など子育てを支援します

③ 社会的な支援を必要とする市民を支える取組

民生委員・児童委員による地域福祉活動へ助成するなど市民を支える取組を充実します

④ 本市の魅力アップにつながる施策

加須市民運動公園野球場をリニューアルし、全国規模の大会にふさわしい会場にするなど加須市の魅力アップにつながる施策を実施します

⑤ 未来につながるまちづくり

加須ⅠC東地区(北大桑地区)産業団地を整備し、雇用の創出や地域の活性化を図ります